

平成22年度 新成長産業分野 IT利活用促進事業  
やまがたIT活用戦略セミナー2011

# ITで 農業は どこまで 変われるか

～ 農商工連携における  
IT活用への期待 ～

**時期** 平成23年 2月2日(水)  
13:30～17:00(受付開始12:30)

**場所** ホテルメトロポリタン山形  
4階「霞城」(山形市)

**参加料** 無料

**定員** 250名(先着順)

**同時開催** 13:00～17:30  
関連システム展示

■“2010年の熱い秋”

TPP, EPA, FTA… アルファベット 3 文字の躍動が目立ち、日本全体を揺さぶりました。「守るだけの農業」から脱皮し、日本の正しい進路を求める声が次第に高まりつつあります。

■“2011年の熱い冬”

ひとかたまりになった農業問題および農業改革に、「農商工連携とIT活用」の角度から挑みます。

■地域活性化の問題に目を向けるとき、農林水産業・製造・流通・観光資源等、そしてそのインフラを構成する金融・物流・エネルギー他すべてを巻き込み、それらのサイクルとネットワークに農商工連携が関わることが望ましい、と私たちは考えています。

■近未来のみならず遠い未来に焦点を合わせ、「農商工連携とIT」にはどんな役割が期待され、どんな価値を生む可能性があるか、等の課題も視野に入れてみたいと思います。

タイムスケジュール

13:30～13:40 主催者あいさつ

13:40～15:10

■基調講演 **NPO法人農商工連携サポートセンター**  
代表理事 大塚 洋一郎 氏

15:25～16:15

■特別講演 **独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構**  
チーム長 平藤 雅之 氏

16:15～17:00

■事例紹介 **株式会社 窪畑ファーム** 代表取締役 山本 斉 氏

■名刺交換会

17:30～18:30

会費 2,000円(当日承ります。)



主催 山形県情報化支援ネットワーク:山形県、(社)山形県情報産業協会、山形銀行、(財)山形県企業振興公社、山形県ITコーディネータ協議会  
共催 東北経済産業局、やまぎん日経BP経営者クラブ、(株)仙台ソフトウェアセンター  
後援 山形県商工会議所連合会、山形県商工会連合会、山形県中小企業団体中央会、山形県工業会、(財)やまがた農業支援センター、山形県農業会議、山形大学農学部



## ■ 基調講演

# 農商工連携／ 6次産業化とIT活用 ～農商工連携で雇用創出！～

NPO法人農商工連携サポートセンター  
代表理事 **大塚 洋一郎氏**

2008年に農商工連携促進法が施行されてから2010年3月までに370件の農商工連携計画が認定されました。農商工連携とは、農林水産事業者が商工業者と通常の商取引より一歩踏み込んだ連携を行うことによって、新しい商品、新しいサービスを創り出すことです。これによって1次製品の付加価値を高め、利益を生み出し、地域に新たな雇用を創出します。

野菜加工品、スイーツ、酒類、水産加工品などの新商品の開発、農家レストランの経営、農業体験などと並んで、IT技術による農業の効率化は農商工連携の重要な柱です。農商工連携のIT化事例の他、農商工連携の具体的事例をわかりやすく紹介するとともに、農商工連携の申請実務、補助金活用など実践的な内容の基調講演です。また、11月末に成立した農林漁業6次産業化法の内容についても概略紹介します。

### 講師紹介

おおつか よういちろう  
**大塚 洋一郎氏**



1954年東京生まれ。北海道大学工学部原子工学科卒。1979年科学技術庁入庁。科学技術庁国際課長、文部科学省海洋開発課長、宇宙開発利用課長などを歴任。2007年7月より経済産業省大臣官房審議官(地域経済担当)として起業立地、ソーシャルビジネス、農商工連携などの地域活性化施策を担当。農商工連携促進法の制定に当初より参画。2009年7月、農商工連携による地域雇用創出にライフワークとして取り組むことを決意。公務員を退職し、NPO法人農商工連携サポートセンターを設立。

## ■ 特別講演

(独)農業・食品産業技術総合研究機構  
筑波大学大学院 生命環境科学研究科

中央農業総合研究センター  
フィールドモニタリング研究チームチーム長 **平藤 雅之氏**

### 農業におけるセンサネットワークの活用と戦略



農業は天候や土壌などの状態に左右される産業であり、農場における環境等に関する詳細な情報の収集・解析が不可欠です。

近年の情報通信技術の進歩はそれを可能にしつつありますが、さらに、食の安全、高収益化、持続的農業、高齢化、地域産業の再生など様々な問題に対する具体的なソリューションをも提供できます。農業用計測ロボット「フィールドサーバ」の開発と実験を通して得られた知見を元に、これらを考えます。

1983年東京大学農学系研究科(現在の農学生命科学研究科)・修士課程修了。1995年東京大学農学博士。  
(独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター・フィールドモニタリング研究チーム・チーム長。筑波大学大学院生命環境科学研究科先端農業技術科学専攻フィールドインフォマティクス研究分野教授。生物のモデリング、生物環境の計測制御、人間-植物共生空間等を研究。

## ■ 事例紹介

(株)窪畑ファーム (株山本組)

代表取締役 **山本 齊氏**

### 野菜がらいな子供に美味しいと言われるトマトづくりを目指して ～畑からITを！～



化学合成肥料・残留性農薬を使用せず微生物培養土で栽培した野菜は、ITを使うことで栽培管理の省力化と品質の向上を図ることができます。

また、自社運営の野菜直売所に来店して頂いたお客様は、その履歴と栽培状況をIPADで確認することができ、より一層安全・安心な野菜づくりができます。

1958年10月山形県鶴岡市湯の浜生まれ。工学院大学専門学校土木科卒業後、都営地下鉄篠崎町駅、営団地下鉄人形町駅部工事に従事、その後帰郷し地域の道路改良工事、港湾工事に従事する。  
2004年1月より(株)山本組代表取締役に就任。2007年6月よりアグリ事業部を設立。2008年2月よりトマト栽培を開始。2009年7月より食品加工事業を開始。2010年4月より直売所ファーマースマルシェをリニューアルオープン。

■ 申込先及びお問い合わせ先 (社)山形県情報産業協会 事務局 山形県山形市松栄一丁目3番8号 山形県産業創造支援センター内 (<http://www.yiia.or.jp>)  
お申込は **FAX.023-647-8132** または **E-mail:info@yiia.or.jp**  
お問い合わせは TEL.023-647-8131

F A X

## ■ 「やまがたIT活用戦略セミナー2011」参加申込書

企業名	(フリガナ)			
住所				
申込責任者ご芳名	所属・役職	氏名		
電話番号	F A X			
E-mail				
参加者名				
No.	所属	役職	ご芳名	名刺交換会参加(○)2,000円
1				
2				
3				

※上記申込の個人情報につきましては当セミナー以外の目的では使用いたしません。